

国立病院機構 西新潟中央病院

— 地域とともに、日々とともに。「今」を伝えるもの語り —

Care + Nishinigiata Chuo Hospital 2022 June

かれん

vol.
05



国立病院機構 西新潟中央病院

〒950-2085 新潟県新潟市西区真砂1丁目14番1号 TEL.025-265-3171 FAX.025-231-2831

<https://nishinigiata.hosp.go.jp/>



message

医療に国境はない。
一日も早い平和を願って。

新年度がスタートした4月。新しい顔ぶれの職員とともに心新たに業務に臨みたいと思う一方で、連日の凄惨な報道に気が休まらない春でもありました。当院で治療を希望される患者さんには海外からの方も多く、これまで、可能な限りの受け入れを行ってきましたが、緊迫が続く世界情勢ではそれもかなわなくなり、大変心を痛めております。医療に国境はありません。日常が戻ることを願うばかりです。そんな中、今年秋には4年ぶりに新潟シティマラソンが再開、車椅子利用者や親子、高齢者でも楽しく参加できる「ユニバーサルラン」も新設予定と聞いています。地域の明るい話題に希望を見だし、歩を進めていきましょう。

国立病院機構 西新潟中央病院
病院長

おおだいら てつろう
大平 徹郎



かれん

vol.05

Care+Nishinigiata Chuo Hospital
2022 June

かれん(Care+N)とは、ケア(いたわる心)と、西新潟のNを組み合わせでできた名前です。優しさとおしほを込めて呼んでもらえるように。そんな思いから生まれました。

contents

03

Care+N person interview

高橋 哲哉

05

Care+N forum

曾山 結希/三井 葉月/武田 菜摘/東樹 亜紀

07

Care+N specialist

システムエンジニア 叶谷 信治雄

08

Care+N letters

[4月1日、令和4年度の辞令交付式が行われました]
[鬼の登場にパニック! 大泣きの子どもたち]
[かわいいお雛様に目を輝かせた楽しいひなまつり]
[認知症はどこまで防げるか]

09

information

新潟市西区出身で、ご実家は当院のすぐ近く。県内さまざまな病院を回り、
脳卒中の研究で米スタンフォード大学に行かれた経歴もお持ちです。
2017年から当院で、地元のみなさんの健康のために奔走されるドクターです。

患者さんの
体と心の健康を高められる、
前向きな治療提案を。



患者さんの意見をよく伺い、多職種チームと連携して
同じ気持ちで取り組む医療を大切に考えています。

たかはし てつや
神経部長 高橋 哲哉

患者さんも医療チームの一員。ゆっくり、一緒に治療していきましょう。

当院はパーキンソン病など神経難病と呼ばれる疾患の拠点的な病院です。神経内科に限らず10年、20年と長期的な治療を行う方が多くいらっしゃいますが、ここで働く医師や看護師はみんな、患者さんとともに歩んでいきたいという気持ちを持っています。病院の雰囲気もどことなくゆったりしているように感じませんか？
ひと昔前は、医師によって治療方針が決められるのが一般的でしたが、今は「多職種が集まり、患者さんの希望に沿って一緒に治療を進める」という考え方が広まってきています。チームで行う医療は、これからの時代もっと必要になってくると思います。



患者さんの励みになる提案を行い、少しでも気持ちが上向きになるように。

診察を終えて帰られる患者さんに、ちょっとした「今日は来て良かった」と思ってもらいたいですよ。気持ちが沈みがちな方に「今度はこうしてみましょ」「こうすると良くなるかも」と前向きな提案を心がけています。病気が治ることだけが健康というわけではなく、生活を上向きにできることこそが大事。みなさんの体と心の健康を少しでも高められるようにしたいんです。
東日本大震災当時、被災地にお手伝いに行った際、整った医療設備もなく大したことはできませんでしたが、感謝の言葉をたくさんいただきました。困っている方の力になれたのならこちらこそうれしかったし、励ますことがひとの助けになるということも、その時に実感しました。

誰にも言わず、密かに練習!? 実はこんな一面も…

学生時代は合唱部に在籍し、指揮者をやっていました。今は特別何もしていませんが、一度だけこっそり年末の第九演奏会に参加したことがあります。仕事の後、遅い時間に練習に行きコンサートにも出演。たぶん病院の誰にも気づかれていないと思います(笑)。
休日は妻とランニングをしたり、犬の散歩をしたり。子どもはこの春から東京に行ってしまいましたが、こちらにいた時はできるだけ一緒に食事をしていました。家族を大切にすることで、自分の仕事にもしっかりと向き合えるのかもしれないと思います。



**臨床で得た知見や研究で、
目の前の患者さんや遠くの誰かを助けられたら。**

今後の目標は、私が診ている患者さんを良くすることがまず一つ。それ以外に、自分が臨床的に得たこと、学会で発表したことが、直接診ていない患者さん、さらにどこか遠くの病院まで届いて、多くのひとにつながる医療を提供していけたらうれしいです。

theme:
「2年目のスタートラインに立って、思うこと」

当院で活躍する多職種の職員たち。この春、入社2年目を迎えた4名で座談会を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で同期の交流は少なく、4人はこの日がほぼ初対面。少し緊張した様子でしたが、話し始めると、同期ならではの共感も生まれたようです。

入社2年目を迎えたみなさん。
1年を振り返ってみてどうですか？

三井: 大学4年生の時の実習期間が新型コロナウイルスの影響で短くなってしまい、不安なまま入社しました。今もまだまだ試行錯誤です。

武田: 私は新卒ではなく、高齢者施設で2年半ほど働いていました。病院では患者さんの栄養指導や相談など、直接関わる機会が多くて最初は緊張しました。

東樹: 私も前職がありますが、前は病院ではなかったので、まず医療事務システムの使い方を覚えるところから。本当にゼロから教えてもらう状態です。

曾山: 入って数カ月は先輩を見習うばかりで、大体の流れを把握できるようになったのはつい最近。だいぶ時間がかかりました！

三井: みんな先輩に助けられていたんですね…。覚えることがたくさんありましたが、そのぶん充実した1年だったのではと思います。



頑張ったこと、大変だったことを教えてください。

東樹: 入って早々、決算の作業を引き継ぎ、締め切りに追

われて大変でした。最近は逆算して仕事を進められるようになり、少しは成長しているのかも。

武田: 私は特別治療食の患者さんの献立作成が難しかったですね。季節の物を取り入れたり、味を工夫したり。でもこだわりすぎると今度は調理師さんの手間がかかってしまうんです。

曾山: バランスが難しいですね。私は学生時代に実習でやってきたことが、実際に現場に出たら全然違って、こんなにギャップがあるんだと驚きました。



三井: わかります！患者さんの日常生活を支援していく立場で、その方の希望を聞き出さなきゃいけないのに、最初は全然うまくいかなくて。コミュニケーションの難しさを感じました。

曾山: 1年目の私たち、患者さんから見たら頼りなかったかもしれないですね。安心して治療してもらえるよう努力していかなくちゃと思います。

医療従事者として働く上で
どんなことを心がけていますか？

武田: コロナ禍で医療の大切さは改めて感じています。治

療も大切ですが、患者さんが心身ともに健康になってもらうことが重要だと感じています。積極的にコミュニケーションを取って、患者さんに寄り添った栄養管理を実践できるよう意識しています。

三井: 作業療法士はリハビリの中でも食事や着替えなど日常生活に関われると思うので、患者さんが感じたことをよく伺って、暮らしやすくしてあげられたら、それが理想だなと思います。

東樹: この病院は地域の方々にとっても頼りにされていますよね。「この科にかかりたいんだけど…」という電話をいただくことも多いんですよ。私はみなさんより患者さんやご家族に直接接する機会が少ないと思いますが、電話などでお礼の言葉を言われた時、私もこの病院の一員なんだなとうれしく感じました。

武田: 声をかけられるのは励みになりますよね。あまり積極的ではなかった患者さんが、自分から食事について話してくれるようになった時は、信頼関係を築けたのかなと感じました。「また何かあったら武田さんに栄養指導お願いしますね」と言うてくださった時はうれしかったです。

曾山: そうそう、「ありがとう」と言われるとやりがいを感じますよね。あと、いざという時に自分の知識を活かせたり



すぐに行動できたりすると、患者さんの役に立てているんだなと感じます。

これからの目標を教えてください。

曾山: 今までは自分のことだけで精一杯でしたが、今後は周りを手伝う余裕を持ちたいですね。患者さんに「このひとりで良かった」と思ってもらえるような医療者になれるよう努力していきたいです。



東樹: 私も周囲に配慮して、事務の横のつながりや病棟とも連携して仕事を進めていけたらと思っています。それから、会計などの研修にも積極的に参加して知識を増やしたいと考えています。

武田: 栄養介入が必要な患者さん一人ひとりに、より適切な栄養管理の提案をしていけるようになりたいです。そのためには管理栄養士としての知識を深め、より専門的な資格の取得などにも挑戦していきたいですね。

三井: この1年、自分の知識不足をすごく感じたので、経験をたくさん積んで、患者さんの生活を明るくできる、笑顔を増やしていける作業療法士になりたいと思います。



3病棟 看護師
そやま ゆうき
曾山 結希
体を動かすことが好き。休日は鳥屋野瀧公園を走ったりバッチングセンターで汗を流したりしています。

リハビリテーション科 作業療法士
みつい はづき
三井 葉月
中学高校はバスケット部に所属、現在は地元長野&宇都宮のプロチームを応援中。試合の配信が楽しみ！

栄養管理室 管理栄養士
たけだ なつみ
武田 菜摘
おいしい物を調べてドライブがてら食べにいくのが趣味。コロナが落ち着いたら東北に行ってみたいです。

事務部 企画課 経理係
とうじゅ あき
東樹 亜紀
旅行が大好き。今まで行った中で印象に残っているのは広島島の厳島神社。初めて見た世界遺産に感動！

国立病院機構 西新潟中央病院専属のシステムエンジニア、叶谷 信治雄さん。
常時止まることのない病院の情報システムを一手に管理しているエキスパートです。
細心の注意を払って取り組む医療エンジニアとしての思いをお聞きました。

おしえてください！
その技術！



緊張感と覚悟で守る、
大切なライフライン。

システムエンジニア
叶谷 信治雄

患者さんの情報や病院のあらゆる情報をコンピュータで管理する医療情報システムは、病院特有のライフラインの一つ。これが止まってしまうと病院業務が成り立たなくなるばかりか、患者さんの生命に関わることも。システムエンジニアの役割は、システムを24時間365日止めることなく稼働させること、そして職員がこれらのシステムを使って円滑に業務を遂行できるように整備することです。

ただし、システムの動きは必ずしも業務に沿った形になっているわけではなく、職員に負担がかかる場合もあります。そこで私は職員やメーカーの方と直接会って、お互いどうすればより良い状態になるかを調整しています。システムを整え、「ありがとう」と言葉をかけてもらうことが仕事の原動力に。きちんと運用管理し、職員研修なども行いながら、システム・利用者の両面からより使いやすいシステムを構築していきたいと思います。

＝ Job description

院内の業務に必要な情報を管理。
心臓部を預かるシステムエンジニアの仕事。

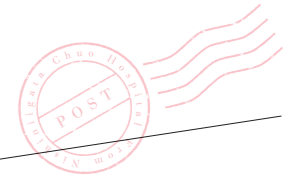


「医療情報システム」は、電子カルテや医事会計をはじめ数十のシステムが連携して構成される、まさに病院の心臓部。24時間365日、職員が円滑に業務できるよう整備しています。

この1台で病院じゅうのシステムをチェック。



システムの監視や調整などはすべてこのパソコンで行います。病院内にある1,000台近い機械のすべてに常に目を配り、万一トラブルが発生した場合は早急に対応します。



topics 01

4月1日、令和4年度の辞令交付式が行われました

今年度は新たに58名の職員が加わり、新体制でのスタートを切りました。辞令交付式では大平病院長から辞令と激励の言葉を受け、引き続き新採用者のオリエンテーションが行われました。新しい仲間をどうぞよろしくお願いたします。



topics 02



鬼の登場にパニック！
大泣きの子どもたち

2月3日、まさご保育園で節分行事が行われました。赤鬼(管理課長)が突然登場すると、大きな鬼に全員が大泣き。「いい子になります」と約束して赤鬼には帰ってもらいました。給食に鬼カレー、おやつには恵方巻を味わい、一日じゅう楽しく過ごしました。

topics 03

かわいいお雛様に目を輝かせた
楽しいひなまつり



3月3日、まさご保育園でひなまつりが行われました。雛人形づくりやお雛様の宝探しゲーム、記念撮影など楽しいひとときを過ごし、ちらし寿司やひなあられも楽しみました。

—心理療法室より— 【認知症はどこまで防げるか】

「認知症にはなりたくない」多くの人がそう思います。しかし実際にはとても身近な病気で、2025年には65歳以上の約5人に1人が認知症になるといわれています。現在、発症リスクを減らす効果が認められているのは、健康的な生活習慣、適度な運動、人との交流です。脳トレやサプリメントに効果は期待できず推奨もされていないため、禁煙や体重管理など生活習慣の改善に努めた方が有益と考えられます。もし認知症を発症してもその人の役割や有能感を保つことは可能です。個人の意思が尊重され、その人らしく過ごせることを大切に考えましょう。

外来診療担当医表 [2022.6]

[受付時間] 8:30~11:30 [休診日] 土・日曜日・祝祭日

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科	午前 (予約制)	大平 徹郎	宮尾 浩美 (肺がん外来)	森山 寛史	宮尾 浩美 (肺がん外来)	松本 尚也 (肺がん外来)
		森山 寛史	桑原 克弘	松本 尚也 (肺がん化学療法)	桑原 克弘	木村 夕香
		木村 夕香	松山 菜穂	倉重 理絵	松山 菜穂	倉重 理絵
		松山 菜穂 (睡眠時無呼吸)		松山 菜穂 (睡眠時無呼吸)		
	午後 (予約制)		大平 徹郎 (睡眠時無呼吸) (再来のみ)		松山 菜穂 (禁煙外来)	
呼吸器外科	午前	(手術日)	渡辺 健寛	(手術日)	古泉 貴久 (第1、第3、第5)	渡辺 健寛
					広野 達彦 (第2、第4)	
整形外科	午前	相場 秀太郎	藤澤 純一	藤澤 純一	(手術日)	榮森 景子
小児整形外科	午後 (予約制)	相場 秀太郎				榮森 景子
脳神経内科	午前	若杉 尚宏	高橋 哲哉	松原 奈絵	高橋 哲哉	長谷川 有香
			黒羽 泰子			齋藤 奈つみ
	午後 (予約制)			黒羽 泰子 (もの忘れ外来)		脳神経内科担当医 (難病相談外来)
機能脳神経外科	午前	福多 真史	(手術日)	福多 真史	増田 浩 (再来のみ)	(手術日)
		白水 洋史		伊藤 陽祐	白水 洋史 (再来のみ)	
てんかん科	午前 (予約制)		長谷川 直哉 (新患のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)
				齋藤 奈つみ (再来のみ)	長谷川 直哉 (再来のみ)	
神経小児科	午前	三浦 雅樹 (再来のみ)	遠山 潤 (再来のみ)	関 衛順 (再来のみ)	遠山 潤	小林 悠
		山田 慧 (再来のみ)	小林 悠 (再来のみ)		三浦 雅樹	放上 萌美
			相馬 規子 (再来のみ)			山田 慧
	午後 (予約制)		遠山 潤 (再来のみ)	放上 萌美	遠山 潤 (再来のみ)	
		関 衛順 (予防接種)	相馬 規子 (予防接種)	関 衛順 (予防接種)	山田 慧 (予防接種)	放上 萌美 (予防接種)
難病リハビリ	9:00~15:00	浦部 陽香	小林 彩夏	大学医	齋藤 奈つみ	小林 彩夏
リハビリテーション科	第3金曜 午後					木村 慎二

外来受診について

外来診療は初診・再診を問わず、原則として予約制です。事前に予約をお取りください。予約専用窓口 / TEL.025-265-2299

□翌日以降の予約(平日13:00~17:00) □当日の診療希望(平日9:00~11:00)

※予約なく紹介状をお持ちになりご来院されても、外来の状況で当日受診ができない場合があります。

【診療日程】

□初診・再診受付 / 8:30~11:30 ※救急の場合は、この限りではありません。 □休診日 / 土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始

TEL.025-265-3171(代表)へお電話いただくと、自動音声でご案内しております。

交通のご案内

【バス】 A.有明線

「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分

B.坂井輪コミュニティバス

「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分

C.西小針線(本数が多い)

「小針十字路」下車徒歩約10分

【JR】越後線「小針駅」からタクシー3分

【車】新潟バイパス「黒埼I.C.」から15分



epilogue

かれん

vol.05

Care + Nishinigiata Chuo Hospital 2022 June

(発行人) 病院長 大平 徹郎 (編集人) 服部 真一 高橋 篤史

表紙の話

国立病院機構 西新潟中央病院に着任したばかりの職員たちが勢揃いし、撮影会を行いました。新年度とはいえまだ肌寒い一日でしたが、春のやさしい日差しに恵まれ、終始和やかに進みました。グループごとに順にカメラの前に立つと最初は少しごちない雰囲気でしたが、カメラマンさんに声をかけられるうちに自然と緊張もほぐれ、初々しい笑顔を見せてくれました。

